



オーストラリア直送レポート

Vol.1

2016.8.6~7 待ちに待った出発日

●ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課：林
引率教諭：吉備中学校 西岡

●パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課：宮地
引率教諭：白馬中学校 熊ノ郷

オーストラリアで日本とは異なる食べ物、気候、人種などを、30人30通りの自分自身で触れて経験したいことを持った中学生30人による、中学生海外研修が始まりました。今回は8月6日から8月22日の17日間で15日間、研修が行われます。その研修本番に向けて、6月2日から約毎週1回、事前研修を重ね、研修への準備を進めました。第一班、吉備中学校16名の生徒はオーストラリアのダーウィン市にある「ドリップストーン・ミドルスクール」へ、第二班の金屋、石垣、八幡、信愛中学校14名はオーストラリアのパーマストーン市にある「パーマストーン・シニアカレッジ」、「ローズベリー・ミドルスクール」へ登校し、研修を行います。



出発当日、有田川町には雷鳴が響き渡りました。まるで、研修生の出発を祝っているかのようでした。久しぶりのにわか雨のおかげで、研修生が有田川町吉備庁舎に集合する時間には、過ごしやすい気候となっていました。



集合した研修生は、壮行会で見せていた緊張や不安と言った表情とは異なり、お見送りに来られた保護者の方や他の研修生と談笑したり、記念撮影をおこなうなどリラックスしているようでした。



関西空港からシンガポールを経由して、オーストラリアはダーウィンへと向かいました。シンガポールの空港内では、ターミナル間を移動するバスに興奮したり、長いエスカレーターに何度も乗ってみたり、研修生同士で写真を撮ったりとみんな早朝乗り継ぎの疲れを感じさせない元気いっぱいの研修生達です。



しかし、長時間のフライトや乗り継ぎ、経験したことのない税関検査等の疲れが次第に研修生から見受けられるようになりました。そんな研修生達でしたが、飛行機の窓からオーストラリア大陸が見えると写真を撮ったり、ホストファミリーの名前などを確認したりと、また、活力のある表情に変わっていきま

無事にオーストラリアの入国審査を通過し、それぞれ大きなトランクケースを受け取りいよいよホスト

ファミリーと対面する時がきました。今回、研修生30名は2人1組で合計15組に分かれてホームステイを行います。それぞれのペアが緊張した面持ちで、ホストファミリーに話しかけて行きました。ホストファミリーの方々は、皆さん優しくそうな方々ばかりで異国の地からやってきた中学生の話す英語に笑顔で耳を傾けて下さっていました。そのおかげで、全てのペアがホストファミリーとの記念撮影を終えた時には、研修生にも笑顔がみうけられました。



ホストファミリー宅で過ごす初めての夜。日本から用意してきたお土産や家族紹介などそれぞれ精一杯の気持ちと英語でのコミュニケーションをとっていると思います。また、第一班はナンチュウソーラン、第二班はプリンセスカグヤ。さらに、それぞれ英語での1分間の英語でのスピーチが明日に控えており不安や緊張を抱いているかもしれません。しかし、これらの経験一つ一つこそが今後研修生達の大きな宝物になってゆきます。研修生が少しでも多くの経験ができるようスタッフ一同しっかりと研修生に共感しフォローしていきます。



保護者の皆さま、お子様が有田川町中学生海外研修に応募されてから、また、6月から始まった事前研修を通してご家庭で、お子さまの変化はございましたか。パスポートや研修中の荷造りなど準備が進むなかで、期待や不安が入り交じった心境だったかと思います。しかし、事前研修を重ねる中で研修生から研修への強い意気込みを感じました。多感な時期に自分自身で興味を持ち経験しようとする研修生達が、オーストラリアでの様々な体験をへて、帰国する時にどんな変化をとげたかを楽しみにお待ちしておりますね。